

第5章

基本政策

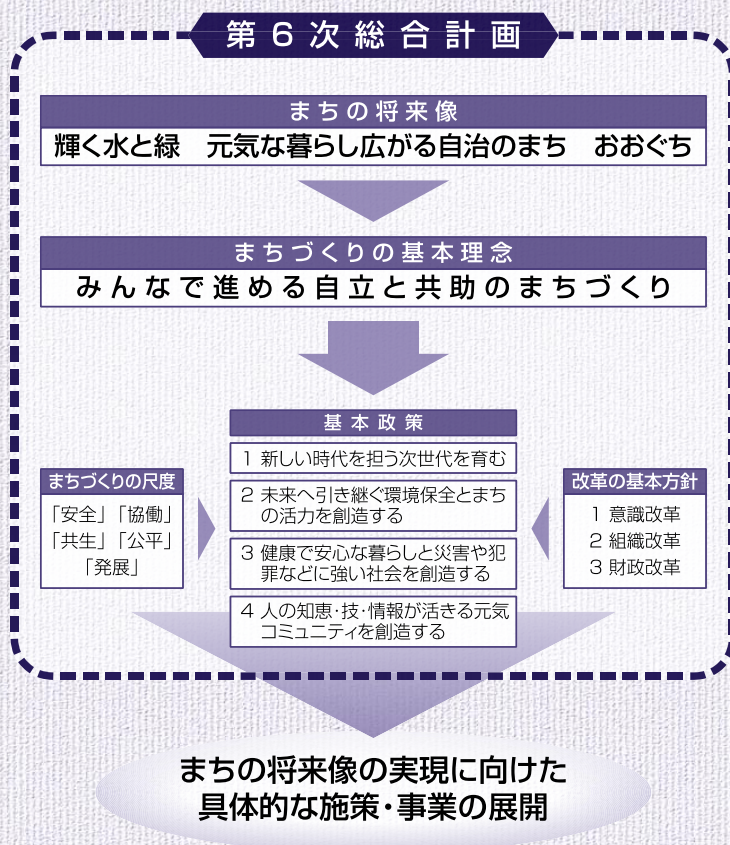


筆記

基本如衆

本章では、基本理念「みんなで進める自立と共助のまちづくり」をもとに、まちの将来像「輝く水と緑 元気な暮らし広がる自治のまち おおぐち」を実現するための4つの基本政策（まちづくりの方針）を掲げます。

この4つの基本政策で指し示すまちづくりの方向性や考え方を踏まえ、第2章3で示した「安全」「協働」「共生」「公平」「発展」の5つの「まちづくりの尺度」を判断基準にして、第4章で示した改革方針と一体化させながら、具体的な施策や事業を立案し、それらを的確に実行していくものとします。



1 新しい時代を担う次世代を育む

将来を担う子どもたちを始め、誰もが意欲を持って学習に取り組み人間性を高めることができるまち、あらゆる人権が尊重され、安心して子どもを産み育てることができる地域社会の創造をめざします。

(1) 個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進

学力・体力の低下や、偏食・孤食化などの食習慣の乱れ、家庭や地域の教育力の低下など、子どもを取り巻く様々な問題が顕在化しています。一方、子どもの教育に対する関心は非常に高く、子どもたちの健全育成のために学校・家庭・地域が連携して取り組んでいくことが求められます。

また、ライフスタイルや価値観の多様化に伴い、生きがいや自己実現などを重視する人が増えています。自らの可能性を広げ高めあうために、文化・スポーツ活動や学習活動などに親しむ生涯学習環境づくりが求められています。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 子どもたちが個性を伸ばしながら、豊かな人間性と自ら学び考える力を身につけ、心身ともに健やかに成長するために、子どもたちの個性や能力に応じた教育や指導を実践するとともに、学習環境や教育・指導体制を整えます。
- 2 学校内にとどまらず、地域社会と交流・連携した環境学習や公共心を養う教育など、実体験的な教育や文化・スポーツ活動を推進するとともに、国際社会にも対応した人材を育みます。
- 3 誰もが生涯にわたって知的好奇心や生きがいを持って自発的に多様な学習活動に取り組み、自己の可能性を広げられる社会環境づくりを進めます。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

学校教育や食育は…

- 安全で快適な教育環境が整っています。また、子どもたちの個性や能力に応じた特色ある学校教育が進んでいます。
- 家庭・地域社会全体で教育活動や文化・スポーツ活動が実践されています。また、地域住民が参加した学校運営が実践されています。
- 地場の食材を生かした食育が推進され、健やかな食習慣が子どもたちや家庭に浸透しています。

生涯学習活動は…

- 統合中学校が生涯学習の拠点の一つになっており、子どもや地域の大人が自発的に多様な学習活動に取り組んでいます。
- 幼児から高齢者までの多くの人々が、それぞれのライフステージに応じて様々な学習活動を楽しく生きがいを持って進めています。

(2) 一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現

児童や高齢者への虐待、DV、悪質業者による財産侵害などが社会問題化しています。国籍や性別、年齢、障害などにとらわれない、一人ひとりの人権が尊重される共生社会の実現が求められています。

また、就労形態や家族構成の変化などによって、子育てに対する負担感・不安感が増すなか、子育てを地域社会と一体になって支援できる意識や環境づくりに取り組むことが求められています。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 あらゆる人権が尊重され、人々が性別や年齢、国籍などを越えて多様な価値観を認めあい、男女共同参画社会づくりなど、誰もが主体的に参画できる社会の実現のために、住民意識の醸成や環境づくりを進めます。
- 2 児童や高齢者などへの虐待や権利・財産の侵害を未然に防止するために、住民意識の醸成を進めるとともに、予防・早期発見・早期対応や権利擁護ができる体制づくりを進めます。
- 3 これからの時代を担う次世代を育むため、若い世代が働きながら安心して子どもを産み育てられる地域ぐるみの子育て支援体制づくりを進めます。また、母子の健康づくりの支援や子育て相談の充実を図ります。

大口町の将来のすがた（政策の成果）**一人ひとりの人権は…**

- 家庭、職場、地域などの様々な場面において、人権や財産の侵害、性別による固定的な役割分担意識などの解消が進み、一人ひとりが尊重され、個性と能力を発揮できる機会が認められる安心な地域社会になっています。

地域の子育て環境は…

- 子どもを産み育てたいという人が仕事や社会活動などと両立しながら、安心して楽しく子育てできる助けあい・支えあいの地域社会になっています。

2 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する

自然、産業、地域社会が共生し、豊かな自然・生活環境を良好な状態で次の世代に引継ぎ、いきいきと持続的な発展を続けていくことができる地域社会の創造をめざします。

(1) 持続可能な循環型社会の創造

地球規模で深刻化・複雑化する環境問題は、産業活動だけでなく家庭系ごみの増加や自家用車への依存など、日常生活からも多く発生しています。ごみの減量活動や省エネ運動などを始めとする数々の取り組みが行われていますが、さらなる意識の向上と活動の輪を広げていくことが求められます。

また、五条川の両岸に広がる農地は、本町の特徴的な風景であり、農業を通じて維持されてきた大切な資産です。安全・安心な「食」への関心が高まるなか、「農」の価値を再認識し積極的な活用を図っていくことが求められています。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 かけがえのない環境や資源を次世代に引き継ぐために、ごみの減量化や環境にやさしい生活スタイルへの転換を図る環境学習を推進するなど、安全で健康的な暮らしが持続的に営める資源循環型社会を構築します。
- 2 環境負荷が小さく、安全・安心な食文化を再生するために、各家庭から出る生ごみを堆肥にして農地に還元し、その農地で生産された安全な農産物を地域住民に提供する有機循環型のまちづくりや地産地消のまちづくりを進めます。また、食料自給率の向上をめざして農業振興に努めます。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

環境問題や地産地消の取り組みは…

- 住民や行政、企業などの各主体は、省エネ・省資源に取り組んでおり、環境への負荷が低減しています。
- 生ごみの堆肥化・堆肥利用の取り組みが定着し、有機循環型のまちづくりが住民参加で進められています。
- 地場産の安全・安心な農産物が地域内で生産・流通し、「食」の安全と安心が確保されています。また、食料の自給率が向上しています。

- 土に親しむことを楽しみながら農業生産の一端を担う住民が多くなっています。農地が「多様な世代の交流の場」「農業文化の伝承の場」になっており、それによって、耕作放棄地の縮小にも寄与しています。

(2) 環境と共生した産業の発展

昭和30年代から始まった企業誘致により、本町には製造業を中心とする多くの事業所が町内各所に散在し、多くの住民が町内に通勤するなど、なくてはならない存在になっています。産業立地は、地域経済などに活力を与えるだけでなく、まちづくりにも大きな影響を与えています。これまでの良好な関係を維持し、さらなる共存共栄を図る上でも企業が活動しやすい地域環境の醸成が求められます。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 自然環境や居住環境との調和を図りつつ、元気な地域経済を実現し、十分な雇用の場を確保していくために、道路整備や拡張用地の確保支援、従業員の通勤しやすい交通条件の充実、会議や研修会場などの提供など、企業が活動しやすい環境条件の整備を進めます。
- 2 本町に立地することにより企業イメージが向上するよう、農地や水辺の自然保全、緑化推進など地域環境の質的な向上を図ります。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

産業活動は…

- 新たな企業立地が進み、環境と調和した企業活動が盛んに行われ、活力ある地域経済が維持・発展しています。
- 企業経営者は、常に経営の質の向上と周辺環境への配慮に努め、経営基盤の強化と活発な企業活動を展開しており、地域の雇用の場の確保に貢献しています。



(3) 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保

五条川と桜並木、緑豊かな田園環境は、先人たちの長年の営みによって培われた本町ならではの緑豊かな風土です。これらを次の世代のために守り育てていくためにも、住民や行政、企業などの連携・協働のもと、いつまでも共生し続けられる環境保全の取り組みが求められます。

また、潤いや安らぎのあるライフスタイルが重視されています。自然のもたらすやすらぎの場・空間や、快適な生活基盤の確保に努めつつ、住民の多様な価値観に配慮しながら魅力を高めていく取り組みが求められます。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 五条川と桜並木、農地や農村集落によって構成される田園環境をはじめとした町内に残る豊かな自然的・文化的環境を住民や行政、企業など各主体の自発的な活動と連携・協働により保全・再生します。
- 2 生命の源である水環境の向上と文化的で安全・快適な生活環境を確保するため、下水道整備、水質保全活動の促進、公園や広場の充実を進めるとともに、集落内の通過交通を排除するための幹線道路の整備を進めます。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

五条川と桜並木は…

- 五条川と桜並木を保全・再生する活動が多くの住民参加によって進められており、毎春、美しく華やかに桜が咲き乱れています。

生活基盤の整備は…

- 下水道整備が進み、清潔で文化的な生活環境が整っていると同時に、河川や水路などの水質環境が改善され、水辺に多様な動植物が生息する環境になっています。
- 住民ニーズに適合した快適で利用しやすい公園が整っており、様々な住民が楽しく公園を利用しています。また、地域住民による公園の管理が進められています。
- 集落内や住宅地における通過交通が少なくなり、安全で快適に歩ける居住環境が確保されており、ガーデニングなど地域住民による潤いある環境づくりが進められています。

3 健康で安心な暮らしと災害や犯罪などに強い社会を創造する

誰もが健康で生きがいを持って生活できる健康長寿・生涯現役社会の構築をめざします。また、安全で安心して日々の暮らしを営むことができる、災害・犯罪などに強い地域社会の創造をめざします。

(1) 誰もが自立した生活が送れる健康長寿・生涯現役社会の構築

本格的な高齢社会の到来を迎えるなか、いつまでも健康でいきいきと暮らせる健やかな地域社会が求められています。「自助・共助の精神」のもと、誰もが分け隔てなく、自立した生活を送りながら、共に支え合える温かな地域社会づくりが求められます。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 生涯現役をめざして、高齢者や障害者など誰もがそれぞれの身体状況に応じた自立した尊厳のある生きがいに満ちた暮らしができるよう、「自立・自助の精神」を育むとともに、「共助・互助の精神」のもとづく地域住民などによる助けあい・支えあいの地域福祉活動を促進します。また、生涯学習活動や身体能力にあった生涯スポーツ活動に対する支援を進めます。
- 2 公的な支援や介護サービスなどが必要な住民やその家族に対して安心感のある暮らしを提供するために、各種相談サービスや予防重視型の介護サービス、障害者支援サービスなどの充実を図ります。
- 3 健康寿命の延伸と増加する医療費の抑制を図るため、死因や要介護状態になる大きな要因になっている生活習慣病を予防する観点から地域保健活動を推進します。特に、ヘルスプロモーション理念にもとづき、保健センターと医療機関、健康づくりを進める住民活動グループなどが相互に連携し、健康に関する知識・技術の提供や健康増進の社会環境づくりといった側面からの健康づくり支援を推進します。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

地域社会の姿は…

- 「自助・共助の精神」が住民一人ひとりに定着し、高齢者も障害者も分け隔てなく、共に生き、共に助け合い、住民誰もが共に生活を楽しむことができる温か味のある地域社会が形成されており、地域住民やNPOなどによる自発的な地域福祉活動が盛んに行われています。

- 住民誰もが生きがいを持って自立した健康的な生活を送っています。

高齢者や障害者への福祉は…

- 介護や支援を必要としている住民が安心して質の高い介護予防サービスや介護サービス、障害者支援サービスが受けられる体制が整っています。

健康づくりは…

- 一人ひとりの住民が生涯を通して健康づくりに取り組める社会環境が整っており、健康寿命が延び、心身ともに健康な住民が増えています。

(2) 災害に強い地域社会の形成

東海・東南海地震などの発生が予測されるなか、的確・迅速な対処と、被害を最小限に食い止めるために、住民や行政、企業の連携体制・防災体制の強化や、地域自主防災活動の積極的な取組みが求められています。

また、災害時に備え、食料や情報源の確保など、一人ひとりの常日頃からの災害対策が求められます。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 地震や風水害からかけがえのない住民の生命や財産を守るため、防災意識の高揚や自主防災活動への支援など、災害に強い地域社会を形成します。
- 2 災害発生時の速やかな避難誘導や救助活動、災害復旧・復興活動がスムーズに行えるようにするため、地域住民や地元企業との連携体制を強化するなど、防災体制を充実します。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

防災対策は…

- 「自らの身の安全は自ら守る」という考え方が住民一人ひとりに定着し、災害に備えて非常持出品の準備などに積極的に取り組んでいます。
- 住民の防災意識が高まり、地区単位の自主防災活動が盛んになり、地域の防災力が向上し、災害に対する安全性の高い地域社会が形成されています。
- 災害時における初動・救助、復旧・復興を円滑に実施できる住民と企業、行政との連携・協働による防災体制が確立しています。

(3) 犯罪を抑止する地域力の向上と交通安全の推進

日常生活において窃盗や空き巣などの身近な犯罪や交通事故が多発しています。地域防犯パトロールや街頭監視活動、あいさつ運動など、地域住民と警察、事業所、行政が連携して取り組んでいます。一人ひとりの防犯意識を高め、各活動主体のさらなる連携強化、地域コミュニティの強化が求められています。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 地域の中の犯罪抑止力を高め、犯罪被害者の発生を防止するため、地域住民と行政との連携・協働のもとに防犯パトロールや見守り活動、あいさつ運動などを推進し、犯罪がおきにくい地域社会を形成します。
- 2 近年増加している詐欺や悪質商法などの消費生活におけるトラブルや被害を未然に防止するため、消費生活情報の提供や相談体制の強化などの対策を充実するとともに、地域住民による啓発活動や高齢者世帯などの見守り活動を促進します。
- 3 交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、警察や学校、地域や家庭と連携し、各年齢に応じた交通安全教育の充実や地域ぐるみの交通安全運動の促進を図ります。また、交通事故危険箇所の改善に努めます。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

防犯対策は…

- 地域住民による防犯パトロールなどが盛んに行われ、地域コミュニティの力で犯罪のない安全で明るい地域社会が形成されています。

交通安全対策は…

- 歩行者や運転者などの交通安全意識やモラルが向上し、交通事故の発生が少ない安全な生活環境が確保されています。



4 人の知恵・技・情報が活きる 元気コミュニティを創造する

住民活動が活発な本町の未来を創造する原動力はまさに人の力です。身近な暮らしの課題に、地域自らが決め解決に取り組んでいける住民自治の確立、様々なまちづくり活動が活発に展開される元気コミュニティの創造をめざします。

(1) 参画と協働のまちづくりの推進と住民自治の確立

町内の様々な催しや、社会貢献的な活動に人々が参画・参加し、得られた生きがいややりがいの実感は、この町の活力を生み出すエネルギーでもあります。

行政の情報公開を拡充し、政策形成段階からの参画・参加や、協働のまちづくりを進めるとともに、個性や魅力を生かした活力ある地域社会をつくるためにも、地域のことは地域の意思で決定し実践できる仕組みが求められています。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 一人ひとりの住民が自立した分権型社会づくりをめざし、活動助成やアウトソーシングの拡充などにより、NPOやボランティアなどの活動を醸成するとともに、性別にとらわれない多様な自発的・主体的な地域活動が連携・協働していく地域社会を構築します。
- 2 分権時代にふさわしいしっかりとした住民自治を確立するため、町と行政区との関係を見直し、一定の権限や責任など行政機能の一部を地区に委譲する地域内分権を推進します。
- 3 わかりやすく開かれた町政を展開するため、町が主催する審議会や委員会などへの一般住民枠の拡大や地区懇談会やワークショップの開催など、多様な場面における町政への住民参加の機会を充実します。また、広報・広聴活動や情報公開の充実など住民と行政との情報共有を進めます。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

連携・協働の取り組みは…

- 「住民や地域でできることは住民や地域で行い、それでも解決できないことがあれば行政が行う。」という「補完性の原理」の考え方が多くの住民に浸透しており、ボランティア活動やNPO活動などが多様に行われています。

- 地域の多様な主体が、身近な地域課題について自主的・主体的に協議し、協働して課題解決に取り組める地域内分権の仕組みが整っています。

情報公開の状況は…

- 情報公開と町政への住民の参画・参加が盛んに行われ、透明性のある住民に開かれた行政が展開されています。

(2) 地域に根付いた多様な住民活動等の促進

本町では多彩な人材が、地域活動やNPO活動などで活躍し、地域の課題解決に重要な役割を果たしています。また、地域に根付いた特色ある歴史・文化的資源があり、年間を通じて様々な伝統行事やイベントが開催されています。こうした様々な活動や文化を結び、総体的に町の魅力として高め発信することが求められます。

また、ニーズの多様化やITの進展に伴い、いろいろな形態の事業活動が生まれています。社会の中で長年にわたり知識や経験を培ってきた人々が、生きがいや充足感を得ながら様々な場で活躍できるよう、新たな地域産業の創出や、雇用の拡大が図られる環境づくりが求められます。

大口町の取り組み（政策の方針）

- 1 地域に誇りと愛着の持てるような地域社会を形成するため、地域の歴史や生活文化について、学び・知り・体感する機会を提供するとともに、伝統や文化を保存・継承する地域住民や住民団体などによる自発的・主体的な活動の支援に努めます。
- 2 地域社会の中で住民それぞれが持つ個性や能力・情報が活かされ、充実感・達成感を実感しながら多様な地域課題や生活課題の解決に向けて意欲的に取り組むことができるまちをめざし、人材の掘り起こしや情報ネットワークなどの整備を行うとともに、地域資源やITなどを活用した、コミュニティビジネスの起業を支援する仕組みを構築します。
- 3 生涯現役社会をめざし、人々が長年培ってきた知識や技術などを活かしながら、より長く生きがいを持ちつつ仕事が続けられるような仕組みづくりを進めます。

大口町の将来のすがた（政策の成果）

地域文化は…

- 歴史や伝統に培われた地域文化に誇りを持ち、その保存・継承活動を進めている住民が増えています。

人や情報、地域資源は…

- 農産物などの地域資源や、情報技術（IT）などを活用したコミュニティビジネスが住民の手によって盛んに展開されており、これまで行政が担っていたような多様な社会サービスを提供しています。また、充実感や達成感を実感しながら地域社会の中でこうしたコミュニティビジネスに携わる住民が増えています。
- 住民一人ひとりがその人生の中で培ってきた知恵や知識、技術を活かし、それぞれが持つ興味や能力を発揮しながら働いています。

